

大阪 連休要因支えに堅調気配のまま下旬へ

(大阪) 大阪地区の鉄スクラップ市況は堅調気配のまま下旬へ向かっている。上げ改定の効果によって、電炉側から入荷押し上げも聞かれるが、3連休が明けてもすぐに祝日を控えるため、東京製鉄含めた他社の動向次第で上げ余地の残る展開といえそうだ。同地区電炉のH2実勢値は5万～5万1000円(一部上値5万1500円)、新断バラ同6万2000～6万3500円、鋼ドライ粉バラ同4万8000～4万9500円見当で推移。

東京製鉄西日本による15日からの値上げに牽引され、地区内でも15～16日にかけて電炉筋の大勢が500～1,000円の上げ改定へと踏み切っている。H2以下のヘビーを中心に在庫過多が続き、そこまでの逼迫感が生じていないなかでの値上げに抵抗を持つ声も少なくな

関西鉄源協議会 21年8月の鉄スクラップ扱ひ量は 前年同月比18.5%増の9.9万ト

(大阪) 関西鉄源協議会(黒川友二代表幹事・扶和メタル会長)は8月の大阪府下鉄スクラップ業者(会員分)の扱ひ量を取りまとめ発表し、ヤード入荷とメーカー直送を合わせた取扱い数量は前年同月比18.5%(1万5498ト)増の9万9293トと8月としては09年以降で最も多い水準となった。

新断、ドライ粉、ヘビー合わせたヤード入荷量が前年同月比6.1%(3,728ト)減の6万5001トであったが、メーカー直送が同比52.3%(1万1770ト)増の3万4292トと高い水準を維持していることが、全体量を大きく押し上げた。

品種別では新断が同比2.2%(240ト)増の1万920トであったが、7月比で29.1%(2,572ト)、19年8月比で

かった。しかし、結果的には上げ改定の効果によって、市況反発が荷動き鈍化に繋がっておらず、電炉入荷は安定もしくは底上げが図れているところもあることで、「海外や東鉄の価格を上回り、メーカー間での需要も異なる。全ての品種がさらに持ち上がるかは不明な部分も多い」(商社)と口にする。

一方、上級スクラップの在庫量は充分と言いきま3連休を迎える。23日の祝日やその後の土日操業を踏まえれば、一定の入荷を促進し続ける必要性にも迫られているため、「ある程度の在庫ポジションを保たなければならないだけに、他社の動向含め、入荷次第では対応を打ち出さざるを得ないのでは」(ヤード業者筋)との見方を強めている。

は16.4%(2,139ト)の大幅な落ち込みを見せている。昨年同月は新型コロナウイルスの感染拡大による景気後退期にあったのを踏まえれば、先月や19年8月比での大幅減は再び減退傾向にあることを示しているものといえそうだ。

鋼ドライ粉も前年同月比では17.2%(758ト)増の5,164トであったが、先月比では12.7%(751ト)減、19年8月比でも16.7%(1,034ト)の落ち込みとなっており、新断と同様のことが当てはまりそうだ。

ヘビー類も前年同月比5.9%(2,730ト)増の4万8917トながらも、7月比では10.8%(5,948ト)減、19年8月比でも5.8%(3,022ト)の減少となっており、コロナ前の水準に戻っていないことが窺える。

山原商会、日立建機日本の重機PR動画に採用

(山口) 金属スクラップディーラーの山原商会(本社=山口県宇部市、山原一紀社長)は日立建機日本が販売するマテリアル・ハンドリング仕様機ZX240LCのPR動画に採用された。動画は9月6日に日立建機日本のYouTube公式チャンネルで公開した。

動画ではヤード内で実際に稼働している様子に合わせた重機の特長などについて紹介。放送時間は2分以内と短くまとめて



おり、初めて見るユーザーでも分かりやすい構成だ。山原商会は日立建機日本製の重機を7台保有し、そのうち4台がZX240LCになり、山原社長は「新規導入する際は親身になって相談に乗って頂き、また導入後のメンテナンスなどのアフターフォローも迅速に対応して貰っていることから、当社では日立建機日本様の重機をよく使っている。そんな中で、PR動画に採用して頂いたことは非常に光栄だ」と話す。



QRコードから動画を閲覧できる

製鋼原料
ギロチンシャー
プレス加工

- ギロチン材、鋼ドライ粉
- 新断くず
- ステンレス、その他非鉄全般

高価大量買付け



三浦金属株式会社

本社 大阪市西淀川区佃 4-3-12
TEL 06 (6471) 1038 (代)
FAX 06 (6471) 2559